

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	自殺対策関係事業		担当部局庁	障害保健福祉部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度		担当課室	精神・障害保健課		北島 智子		
会計区分	一般会計		施策名	Ⅷ-1-1 障害者の地域における生活を支援するため、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	自殺対策基本法第17・18条		関係する計画、通知等	自殺総合対策大綱 等				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	自殺対策基本法では、第17条に自殺未遂者に対する支援、第18条に自殺者の親族等に対して支援を行うべきと定められているところであるが、自殺未遂者や自殺遺族、周囲の人々に対する支援を行う専門職に対する研修等を行うことにより、自殺未遂者・自殺遺族等の精神的ケアを一層充実させることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①自殺未遂者の再度の自殺を防ぐために、入院中及び退院後の心理的ケアを中心に、医師、看護師、保健師等を主に対象にした研修を開催する。 ②一般かかりつけ医と精神科医の連携体制の強化や精神科医療従事者に対する研修を行い、精神医療の質の向上を図る。(平成22年度において、各都道府県に設置されている地域自殺対策緊急強化基金に積み増しを行った。)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	18	17	11	7	8	
		補正予算	752					
		繰越し等						
	計	771	17	11	7	8		
	執行額	762	10	8				
執行率(%)	99%	59%	74%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (26年度)	
	自殺者数の減少(数値目標は記載困難)		成果実績	人	31,690	30,651	27,858	—
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	自殺未遂者ケア研修・自死遺族ケアシンポジウムの開催回数		活動実績 (当初見込み)		研修4回 シンポジウム1回 (研修4回 シンポジウム1回)	研修4回 シンポジウム2回 (研修4回 シンポジウム2回)	研修4回 (研修4回)	— (研修4回)
			算出根拠	8百万円 / 4回 = 2,000,000 (円/回数)				
単位当たりコスト	2,000,000(円/回数)							
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	自殺未遂者ケア対策事業	7	8	統一単価の増				
	計	7	8					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	年間約3万人の自殺があるが、未遂者はその10倍いると言われており、ニーズは高い。日本の自殺未遂者救急医療のトップレベルの専門家を講師とする事業であり、国が実施する必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	自治体ごとに実施するほうが開催回数が増加し、1回あたりの受講人数は少なく、逆に効率が悪い。また、講師をできるほどの専門家も少ない。国がまとめて実施するのが効率的である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	自殺対策は喫緊の政策課題である。未遂者ケア技術の向上を図ることは自殺予防につながり、優先度は高い。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	競争入札によって選定されている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	受講者からは受講料は徴収しないが、自殺予防は国家的事業であり、徴収しないことが妥当である。		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	最低価格落札を行い、非常に少額の価格となった結果、必然的にコスト削減となっている。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業開催に必要な経費のみに支出されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	競争入札により安価な調達を実現したことによる。		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	ハイリスク者に直接接する救急医療従事者への研修は、自殺予防への実効性が非常に高い。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	事業計画どおり、適正に開催されている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	受講後、受講者が救急現場で実際に自殺未遂者の対応にあたる際に、ノウハウを活かしている。		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>活動実績に示す通り、年間で一定回数の研修等を実施することにより、成果指標たる自殺者数の減少として、平成24年度は3万人を切るなど、高い実績を上げていると考える。</p> <p>そのうえで、執行の効率化による不用額をふまえ、24年度11百万円であった予算は、25年度には7百万円に削減を行ったところ。</p> <p>今後も予算の執行状況等を踏まえつつ、施策の推進に必要な予算の確保を行う。</p>					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	本経費については、事業の必要性からの評価としても、概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めること					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	482	平成23年	438	平成24年	382

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
8百万円



【一般競争入札】

A 株式会社フォーラムワン
8百万円

自殺未遂者ケア研修の開催

○自殺未遂者ケア研修の開催

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社フォーラムワン	自死遺族ケアシンポジウム・自殺未遂者ケア研修の開催	8	5	0.76
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					